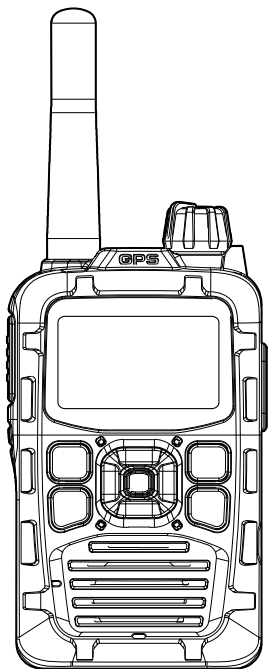


取扱説明書

携帯型IP無線機

SK-2000

この取扱説明書は、別売品のことも記載
していますので、お読みになったあとも
大切に保管してください。



はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本製品は、NTTドコモの3G通信ネットワーク網を経由した日本全国が通信エリアの携帯型IP無線機です。

ご使用の際は、この取扱説明書をよくお読みいただき、本製品の性能を十分発揮していただくとともに、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

付属品について

- ◎ストラップ 1
- ◎取扱説明書（本書）、保証書

登録商標/著作権について

本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

本書の内容の一部または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

本製品の概要について

- ◎株式会社NTTドコモの3G通信ネットワークとパナソニック(株)AVCネットワーク社が運営のクラウド(サーバー)を利用することで、日本全国が通信エリアの安定した通信ができます。
- ◎IP57(防塵形と防浸形)★の性能に対応できるように設計されています。(バッテリーパック、アンテナ装着時に限る)
- ◎局番号帳メモリー機能により、接続先を簡単に表示できます。
- ◎漢字名称を選択して、全グループ通話、グループ通話、個別通話モードの切り替えや、相手局の呼び出しができます。
- ◎あらかじめ状態設定に登録された定型文を選択すると、自局の現在の状態をIPステーションに通知できます。
- ◎一斉・同報通信時の遅延、バラつきを極小化。
レスポンスの良い高品質通信を実現しました。
- ◎GPSモジュールとGPSアンテナが内蔵されていますので、IPステーションを専用のパソコンに導入すれば位置情報管理ができます。

★「IP表記について」(P.6)をご覧ください。



Li-ion

使用後はリサイクルへ

この製品は、充電式電池使用機器です。
希少な金属を再利用し、地球環境を維持するために、不要になった電池は廃棄せず、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

はじめに(つづき)

医用電気機器近くでの取り扱いについて

植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりこれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

◎植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器の装着部位から15cm以上離して携行、および使用してください。

電波により機器の作動に影響を与える場合があります。

◎身動きが自由に取れない状況など、15cm以上の離隔距離が確保できないおそれがある場合、付近に植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本製品を使用しないでください。電波により機器の作動に影響を与える場合があります。

◎医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。

- 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本製品を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本製品を使用しないでください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は本製品を使用しないでください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示にしたがってください。

◎医療機関の外で、植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合(自宅療養など)は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により機器の作動に影響を与える場合があります。

防塵/防水性能について

バッテリーパックを無線機本体に装着することで、IP57の防塵/防水性能があります。

次のような使いかたをすると、防塵/防水性能を維持できませんので、ご注意ください。

- 水深1m以上、または30分以上水中に放置したとき
- 雨の中や、水滴が付着、またはぬれた手でバッテリーパック、スピーカマイクを付けたり、はずしたりしたとき
- 海水や砂、泥、洗浄液(洗剤)等が無線機に付着したまま放置したとき
- 落下等外的衝撃により、樹脂変形、ひずみ、ひび割れ等が発生した場合や薬品の付着により筐体、ゴムパッキンに劣化が生じたとき
- 長時間、高い水圧をかけたとき
- 蛇口からの水や湯を直接当てたとき
- 「別売品の使用による防塵/防水性能について」(下記)に記載する別売品以外を使用したとき
- 無線機本体とバッテリーパック端子間の腐食による故障、または損傷したとき
- 10℃～+60℃以外の環境で使用したとき
- 薬品等の蒸気が発散しているところや薬品に触れるところに放置したとき
- 本製品を分解または改造したとき
- 無線機本体とバッテリーパック、別売品を接続するコネクター間に微細なゴミ(糸くず、毛髪、砂など)が挟まっているとき

別売品の使用による防塵/防水性能について

バッテリーパック(SK-P01)、アンテナ(SK-A01)を無線機本体に装着することで、IP57の防塵/防水性能があります。

※上記以外の別売品を使用したときは、別売品を含めた防塵/防水性能の低いものに制限されます。

※別売品(P.74～P.75)のご使用は、防塵/防水性能をご確認の上、ご使用ください。

はじめに(つづき)

IP表記について

機器内への異物の侵入に対する保護性能を表すための表記です。IPにつづけて保護等級を示す数字で記載され、1つ目の数字が防塵等級、2つ目が防水等級を意味します。

また、保護等級を定めない場合は、その等級の表記に該当する数字の部分を「X」で表記します。

【本書で記載する保護の程度について】

IP5X(防塵形) : 試験用粉塵を1m³あたり2kgの割合で浮遊させた中に8時間放置したのちに取り出して、無線機として機能すること

IPX4(防まつ形) : いかなる方向からの水の飛まつを受けても有害な影響がないこと

IPX7(防浸形) : 水深1mの静水(常温の水道水)に静かに沈め、30分間放置したのちに取り出して、無線機として機能すること

自動車運転時のご注意

◎安全運転のため、運転中に無線機を操作したり、無線機の表示部を注視(表示部を見つづける行為)したりしないでください。

◎無線機を操作、または表示部を注視する場合は、必ず安全な場所に自動車を停車させてください。

◎安全運転に必要な外部の音が聞こえない状態で自動車を運転しないでください。

一部の都道府県では、走行中にイヤホンやヘッドホンなどを使用することが規制されています。

◎安全運転のため、無線機を身体に付けた状態で運転しないでください。

電波法についてのご注意

- ◎本製品は電波法に基づいて、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。
分解や改造をしないでください。
- ◎本製品を使用できるのは、日本国内に限られています。
本製品は、日本国内での使用を目的に設計・製造しています。
したがって、日本国外で使用された場合、本製品およびその他の機器を壊すおそれがあります。
また、その国の法令に抵触する場合がありますので、使用できません。

2.4GHz現品表示記号の意味について

「2.4」 : 2.4GHz帯を使用する無線設備

「FH」 : FHSS方式

「1」 : 想定干渉距離が10m以下

「」 : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可

2.4FH1



はじめに(つづき)

電波干渉についてのご注意

2.4GHz帯で通信するときは、次のことがらに注意してください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を必要とする無線局)および特定小電力無線局(免許を必要としない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を必要とする無線局)が運用されています。

◎この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。

◎万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、または電波の発射を停止した上、下記のサポートセンターにご連絡いただき、混信回避のための処置等についてご相談ください。

◎その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、下記へお問い合わせください。

販売元お問い合わせ先

スマートウェーブ・テレコミュニケーションズ株式会社

サポートセンター

TEL 03-6455-7700

取り扱い上のご注意

- ◎本製品を極端に寒い場所から持ち運んだ場合は、結露する可能性があります。
結露した場合は、自然乾燥させるか、長いあいだ同じ環境に置くなどして、結露がなくなってからご使用ください。
- ◎雨の中や、水滴が付着したまま、またはぬれた手でバッテリーパックや防水形スピーカーマイク、アンテナを付けたり、はずしたりしないでください。
- ◎蛇口からの水や湯を直接当てないでください。
- ◎磁気カードを無線機に近づけないでください。
磁気カードの内容が消去されることがあります。
- ◎バッテリーパックをお買い上げいただいたときや、2ヵ月以上充電しなかったときは、必ず充電してください。

◎サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通話できません。また、電波状態の悪い場所では通話できないこともあります。なお、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。

◎本製品の故障、誤動作、不具合、停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

はじめに(つづき)

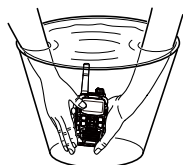
海水が付着したときは？

海水が無線機に付着したときは、蛇口などから直接かけるのではなく、右図のようにバケツ等にためた常温の真水で洗い流してください。

また、たわしなどでこすらず、手で洗い流してください。

このとき、バッテリーパックとアンテナは、無線機本体から絶対にはずさないでください。

洗い流したあとは、真水の中に放置せず手早く取り上げ、水分をふき取り、十分に乾燥させてからご使用ください。



本製品の比吸収率(SAR)について

本製品は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、携帯型端末などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)について、これが 2W/kg *の許容値を超えないこととしています。

この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

本製品の値は 1.59W/kg (10g)です。

この値は、国が定めた方法に従い、携帯型端末の送信電力を最大にして測定された最大の値です。

個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

また、本製品は、基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

社団法人電波産業会のホームページ

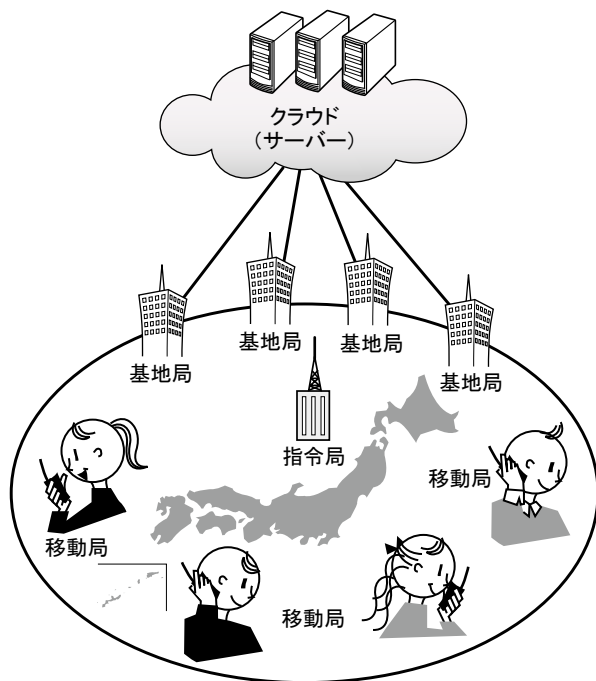
<http://www.arib-emf.org/index.html>

★技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

はじめに(つづき)

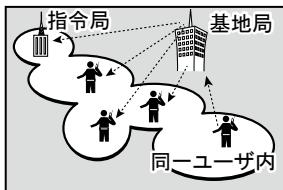
IP無線システムについて

IP無線システムは、携帯電話通信網を利用して広域かつ高品質の音声通話データ転送を実現するシステムです。



通話モード

IP無線システムは、4つの通話モードを指定して通話を行うことができます。

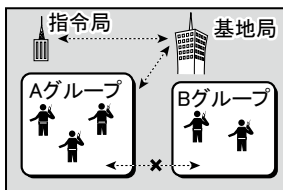


(1)全グループ斉通話

同一ユーザ内の通話中の無線機を強制的に終話させて、すべての無線機と通話ができます。

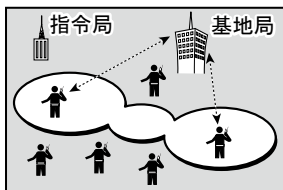
(2)全グループ通話

同一ユーザ内の、通話中以外のすべての無線機と通話ができます。



(3)グループ通話

同一ユーザ内の無線機をいくつかのグループに分けているとき、特定のグループの無線機とだけ通話ができます。



(4)個別通話

無線機ごとに割り当てられた個別番号で、特定の無線機とだけ通話ができます。

もくじ

はじめに	2
安全上のご注意	16
ご使用前の準備	28
■ アンテナ/ストラップの取り付けかた	28
■ ベルトクリップの取り付けかた	28
■ バッテリーパックの取り付けかた	29
■ 充電のしかた(SK-P02使用時)	30
■ 充電時間と運用時間の目安	32
■ バッテリーパックの特性と寿命について	33
■ micro SIMカードを取り付ける	34
■ 電源の入れかたと音量調整のしかた	36
■ 通話の前に確認すること	37
■ 電池の残量表示について	38
■ 電池の残量警告音について	38
■ キーロック機能について	39
各部の名称とはたらき	40
■ 前面部/側面部	40
■ 表示部	44
通話する(ワンタッチ発信)	46
通話する(局番号帳発信)	47
通話する(局番号入力発信)	51
■ [回線表示]ランプが赤色に点灯したら	52
通話する(着信)	54
■ 通話中の全グループ一斉受信について	54
■ 通話の終了について	55
発信履歴から発信する	56
着信履歴から発信する	58
セレコール	60
ユーザを切り替える	63
自局情報を確認する	65
コントラストを調整する	68

もくじ(つづき)

ワンタッチ発信相手局を切り替える	69
状態を設定する	71
警告機能について	73
別売品とその使いかた	74
■ 別売品についてのご注意	74
■ 別売品について	74
■ 乾電池ケース(SK-P06)について	76
■ 6連急速充電器(SK-P04)で充電するには	78
■ スピーカーマイク(SK-M01)/ ネクタイピンマイク(SK-M02)の接続について	80
■ ネクタイピンマイク(SK-M02)の使いかた	81
■ ソフトケース(SK-T02)について	82
■ シガライターケーブル(SK-P07)で充電するには	84
ケタ数/件数一覧	85
ファームアップについて	86
メッセージ一覧	87
保守	89
■ 日常の保守	89
■ 定期保守	89
故障と思われる前に	90
用語・機能説明一覧	92
仕様	93
■ SK-2000	93
保証とアフターサービス	94
■ 保証書(別添付)	94
■ 保証期間中の修理	94
■ 保証期間後の修理	94
■ 弊社製品のお問い合わせ先について	94

安全上のご注意

安全にお使いいただくために、
ご使用の前に、必ずお読みください。

- ◎ 使用者および周囲の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい注意事項を示しています。
- ◎ 次の『△危険』『△警告』『△注意』の内容をよく理解してから本文をお読みください。
- ◎ お読みになったあとは、いつでも読める場所へ大切に保管してください。

△危険

これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。

△警告

これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

△注意

これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

【免責事項について】

お客様または第三者が、取扱説明書記載の使用方法とは異なる使用方法で本製品を使用したことにより生じた故障、ならびに本製品の違法な使用により生じた故障につきましては、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

本製品の使用により本製品以外に生じた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意(つづき)

■ 共通

⚠ 警告

- ◎ 航空機内や病院など、使用を禁止されている区域では電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を与える原因になります。
運用が必要な場合は、使用する区域の管理者から許可が得られるまで電源を入れないでください。

- ◎ 自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しないでください。

本製品からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

- ◎ 分解、改造しないでください。

火災、感電、故障の原因になります。

- ◎ 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常がある場合は、使用しないでください。

そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。
すぐに電源を切り、煙が出なくなるのを確認してからお買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

- ◎ 赤ちゃんや小さなお子さまの手が届かない場所で使用、保管してください。

感電、けがの原因になります。

安全上のご注意(つづき)

■ 共通

⚠ 注意

- ◎ 直射日光の当たる場所や空調機器の吹き出し口など、温度変化の激しい場所に置かないでください。
変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。
- ◎ 清掃するときは、洗剤や有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)を絶対に使用しないでください。
ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。

■ SK-2000本体について

⚠ 危険

引火性ガスの発生する場所では、絶対に使用しないでください。
火災、爆発の原因になります。

⚠ 警告

- ◎ 指定以外のバッテリーパックを使用しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。
- ◎ アンテナやストラップを持って本製品を振り回したり、投げたりしないでください。
本人や他人に当たって、けがや故障、および破損の原因になります。
- ◎ 大きな音量でヘッドホンやイヤホンなどを使用しないでください。
大きな音を連続して聞くと、耳に障害を与える原因になります。

安全上のご注意(つづき)

⚠注意

- ◎ アンテナを折り曲げたり、ねじったりしないでください。
変形や破損の原因になることがあります。
- ◎ 針金などの細い棒で、マイクロホン部やスピーカー部の穴に
触れないでください。
故障の原因になることがあります。
- ◎ ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置か
ないでください。
落ちたり、倒れたりして、火災、けが、故障の原因となるこ
とがあります。
- ◎ 付属品、および指定の別売品以外は使用しないでください。
故障の原因になることがあります。
- ◎ テレビやラジオの近くで送信しないでください。
電波障害を与えたり、受けたりする原因になることがありま
す。
- ◎ $-10^{\circ}\text{C} \sim +60^{\circ}\text{C}$ 以外の環境では使用しないでください。
記載の温度範囲以外でのご使用は、故障の原因になることが
あります。

■ バッテリーパック(SK-P01)について(別売品)

⚠危険

- ◎ 火やストーブのそば、車内や炎天下など、高温になる場所での使用、充電、放置はしないでください。
バッテリーパックの性能や寿命が低下、保護装置が動作して充電できなくなったり、保護装置が破損したりして、破裂、発煙、発火や火災、液もれ、やけどの原因になります。

安全上のご注意(つづき)

■ バッテリーパック(SK-P01)について(別売品)

△危険(つづき)

- ◎ 火の中に投入したり、加熱したりしないでください。
バッテリーパック内部のガスに引火して、破裂や火災などの原因になります。
- ◎ コンクリートなどのかたい床に落としたりするなど、強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
外観上、ひび割れや破損がない場合でも、内部で破損している場合があります、その状態で使用をつづけると、破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。
- ◎ 下記の事項を守らないと、破裂、発火や火災、発熱や発煙、液もれ、感電、やけどの原因になります。
 - バッテリーパックの端子にハンダ付けをしないでください。
 - バッテリーパックの端子間を針金などの金属類で接続しないでください。
 - 金属類(針金、ネックレス、鍵など)や導電性のあるものをバッテリーパックの上に放置したり、バッテリーパックと一っしょに持ち運んだりしないでください。
 - バッテリーパックは、単体で水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。
 - 弊社指定の充電器での充電、および無線機の使用について厳しい検査をしていますので、弊社指定以外の無線機や充電器、およびそれ以外の用途には使用しないでください。
 - バッテリーパックからもれ出した液が目に入ったときは、こすらないでください。
失明のおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流したあと、ただちに医師の治療を受けてください。

安全上のご注意(つづき)

⚠警告

- ◎使用中や充電中にいつもより発熱する、膨らみや変形などの異常が見られるときは、すみやかに使用を中止してください。使用をつづけると、バッテリーパックの破裂、液もれ、故障の原因になります。
- ◎電子レンジや高圧釜などに入れたり、電磁調理器の上に置いたりしないでください。破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。
- ◎指定の充電時間以上、充電しないでください。満充電後、すぐに再充電を繰り返すと、過充電になり、バッテリーパックの破裂、発熱、液もれの原因になります。
- ◎指定の充電時間を超えても充電が完了しないときは、ただちに充電を中止してください。破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。
- ◎バッテリーパックからもれ出した液が皮膚や衣服に付着したときは、放置しないでください。皮膚に障害を与えるおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- ◎テープを巻きつけたり、加工したりしないでください。バッテリーパック内部からガスが発生することがあり、破裂、発熱、液もれの原因になります。
- ◎バッテリーパックは、ぬれた状態で無線機や充電器に装着しないでください。無線機や充電器の電源端子接点部に水や海水が付着して、故障の原因になります。

バッテリーパックをご使用の際に、異常と思われたときは、使用しないでお買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

安全上のご注意(つづき)

■ バッテリーパック(SK-P01)について(別売品)

△注意

◎ 下記の事項を守らないと、破裂、発熱、液もれ、サビ、性能や寿命の低下の原因になることがあります。

- バッテリーパックを満充電にした状態、または完全に使い切った状態で長期間放置しないでください。

長期間バッテリーパックを保管する場合は、満充電のあと、 (残量あり)の状態を表示するまで使用して、無線機から取りはずし、下記の温度範囲で湿気の少ない場所に保管してください。

約1ヵ月 : -20℃～+50℃

約3ヵ月 : -20℃～+35℃

約1年 : -20℃～+20℃

- -10℃～+60℃以外の環境では使用しないでください。
- 寒い屋外や冷えた状態で充電しないでください。
- 無線機を使用しないときは、必ず電源を切ってください。

■ 充電器(SK-P02、SK-P04)について(別売品)

△危険

◎ 下記の事項を守らないと、破裂、発火や火災、発熱、液もれ、感電、けが、故障の原因になります。

- 充電器には、弊社指定以外のACアダプタを使用しないでください。
- 弊社指定以外のバッテリーパックを充電しないでください。
SK-P01 (バッテリーパック)専用の充電器です。
- 分解や改造をしないでください。
また、ご自分で修理しないでください。

安全上のご注意(つづき)

⚠警告

◎ 下記の事項を守らないと、火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。

- 充電器に水を入れたり、ぬらしたりしないでください。
また、水にぬれたときは、使用しないでください。
- ぬれた手で電源プラグや機器に絶対に触れないでください。
- 電源ケーブルや接続ケーブルの上に乗ったり、重いものを載せたりしないでください。
- 電源ケーブルや接続ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
- 充電器の充電端子接点部に金属類を差し込まないでください。
- 電源ケーブルや接続ケーブルに傷がある、またはACコンセントの差し込みがゆるいときは、使用しないでください。

⚠注意

◎ 下記の事項を守らないと、火災、液もれ、発熱、感電、故障の原因になることがあります。

- 以下の温度範囲以外の環境で充電しないでください。
SK-P02(急速充電器) : 0℃～40℃
SK-P04(6連急速充電器) : 10℃～40℃
- 充電が完了したバッテリーパックを再充電しないでください。
- 湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所に置かないでください。
- 電源ケーブルを抜き差しするときは、電源ケーブルを引っ張らないでください。
- 充電後や充電しないときは、ACコンセントから電源ケーブルを抜いてください。

安全上のご注意(つづき)

■ 乾電池ケース(SK-P06)について(別売品)

⚠危険

◎下記の事項を守らないと、破裂、発火や火災、発熱、液もれ、感電、やけどの原因になります。

- SK-P06(乾電池ケース)は、アルカリ乾電池専用の乾電池ケースです。

アルカリ乾電池以外の電池を入れないでください。

- 充電しないでください。
- ハンダ付けしないでください。
- 乾電池ケースの電池端子間をショートさせないでください。
- ネックレスなどの金属類と乾電池ケースをいっしょに持ち運んだり、放置したりしないでください。
- 火やストーブのそば、炎天下など、高温になる場所での使用、または放置をしないでください。
- 長時間使用しない場合は、液もれのおそれがありますので、アルカリ乾電池を取りはずしてください。
また、電池のアルカリ液が目に入ったり、皮膚や衣服に付着したりしたときは、こすったり、触れたりしないでください。
失明、皮膚障害のおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流したあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 被覆が傷ついたり、はがれたりしたアルカリ乾電池を使用しないでください。

安全上のご注意(つづき)

⚠警告

◎下記の事項を守らないと、破裂、発熱、液もれ、けがの原因になります。

- テープを巻きつけたり、加工したりしないでください。
アルカリ乾電池から、ガスが発生することがあります。
- 水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。
- 分解や改造をしないでください。
- 電池を交換するときは、すべての電池を同時に交換してください。
また、種類の異なる電池を混ぜたり、新しい電池と古い電池を混ぜたりして使用しないでください。

安全上のご注意(つづき)

■ シガライターケーブル(SK-P07)について(別売品)

⚠危険

- ◎ 下記の事項を守らないと、破裂、発火や火災、発熱、液もれ、感電、けが、故障の原因になります。
- 弊社指定以外のバッテリーパックを充電しないでください。
SK-P01(バッテリーパック)専用のシガライターケーブルです。
 - 乾電池ケースを使用したまま、シガライターケーブルを接続しないでください。
 - 分解や改造をしないでください。
また、ご自分で修理しないでください。

⚠警告

- ◎ 下記の事項を守らないと、火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。
- シガライターケーブルを、ぬらしたりしないでください。
また、水にぬれたときは、使用しないでください。
 - ぬれた手でシガライターケーブルに絶対に触れないでください。
 - シガライターケーブルの上に乗ったり、重いものを載せたりしないでください。
 - シガライターケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
 - シガライターケーブルに傷がある、またはシガライターソケットの差し込みがゆるいときは、使用しないでください。

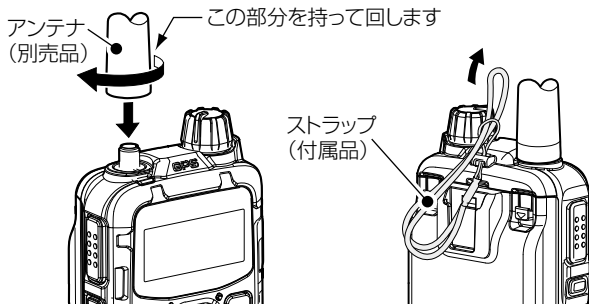
安全上のご注意(つづき)

⚠注意

- ◎ 下記の事項を守らないと、火災、液もれ、発熱、感電、故障の原因になることがあります。
- 0℃～40℃以外の環境で充電しないでください。
 - 充電が完了したバッテリーパックを再充電しないでください。
 - 湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所に置かないでください。
 - シガライターケーブルを抜き差しするときは、ケーブルを引っ張らないでください。
 - 充電後や充電しないときは、シガライターソケットからシガライターケーブルを抜いてください。

ご使用前の準備

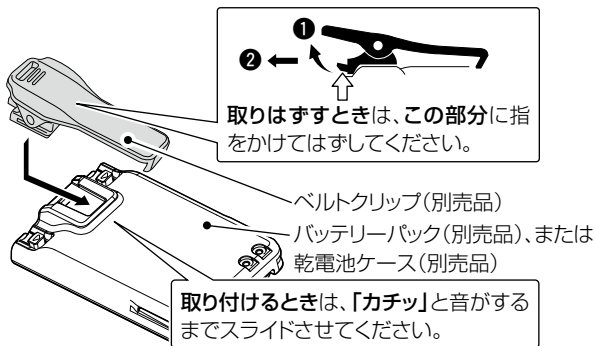
■ アンテナ/ストラップの取り付けかた



【ご注意】

技術基準適合証明(工事設計認証)を受けていますので、別売品のアンテナ(SK-A01)以外は使用できません。

■ ベルトクリップの取り付けかた



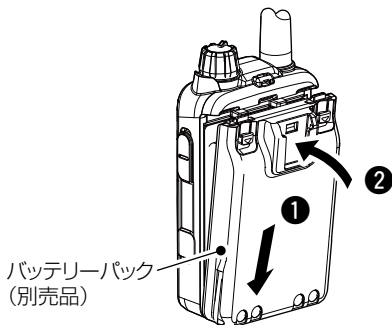
※バッテリーパック、または乾電池ケースを無線機本体から取りはずした状態で、ベルトクリップを着脱してください。

ご使用前の準備(つづき)

■ バッテリーパックの取り付けかた

お買い上げいただいたときや、2ヵ月以上充電しなかったときは、必ず充電してから、ご使用ください。

※充電方法については、本書P.30～P.31をご覧ください。



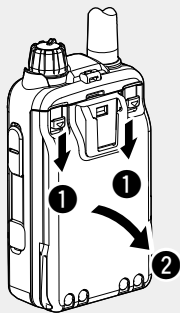
上図の手順(①～②)で、取り付けてください。

△注意

しばらく使用しないときは、バッテリーパックを無線機本体から必ず取りはずしてください。

本製品の電源を切った状態でも、常に微少の電流が流れていますので、電池が消耗する原因になることがあります。

※本製品の電源を切ってから、右図の手順(①～②)で、バッテリーパックを取りはずしてください。



ご使用前の準備(つづき)

■ 充電のしかた(SK-P02使用時)

お買い上げいただいたときや、2ヵ月以上充電しなかったときは、必ず充電してからご使用ください。

◎ 充電中は、本製品の電源を切ることをおすすめします。

電源が入ったまま充電すると、充電に時間がかかります。

◎ バッテリーパック、または無線機本体にバッテリーパックを装着した状態で、図のように充電器に差し込んでください。

◎ 充電中、充電ランプは橙色に点灯します。

充電が完了すると緑色に点灯します。

※ 橙色で点滅する場合は、「故障と思われる前に」(P.90)をご覧ください。

◎ 充電が完了したあと、バッテリーパックの電圧が低下すると自動的に再充電を開始します。

※ 0℃～40℃以外の環境や劣化が進んだバッテリーパックを充電した場合、充電完了後すぐに充電を再開する場合がありますが、充電器の故障ではありません。

※ 充電後や充電しないときは、ACコンセントからACアダプタを抜いてください。

◎ 本製品を長時間ご使用にならない場合は、充電器から取りはずしてください。

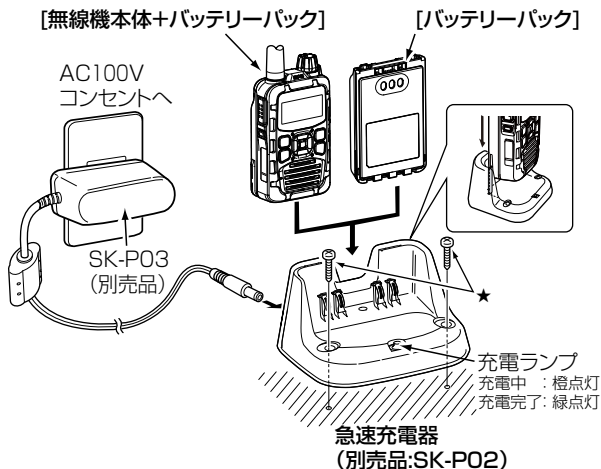
△危険

◎ 充電するときは、必ず「別売品について」(P.74)に記載の充電器をご使用ください。

◎ SK-P01以外のバッテリーパックは、絶対に充電しないでください。

◎ 「安全上のご注意」(P.16～P.27)を併せてお読みになり、安全な方法で充電してください。

ご使用前の準備(つづき)



★固定されるときは、市販のタッピングネジ(2本: 3.5×30mm)をご用意ください。

【ご参考】

急速充電器(SK-P02)で充電する際、ソフトケース(SK-T02)を装着した状態で充電できます。
ソフトケースを装着して充電する方法については、「別売品とその使いかた」(P.83)をご覧ください。

ご使用前の準備(つづき)

■ 充電時間と運用時間の目安

ご使用になる運用条件によって、運用時間が異なります。

※圏外やローミングを繰り返す環境では、運用時間は短くなります。

名称 定格項目	バッテリーパック(SK-P01)
運用時間	約17.0時間
	〈条件〉送信1、受信1、待ち受け受信8の割合で 繰り返し運用
充電時間	約3.5時間 (SK-P02を使用時)
	約4.0時間 (SK-P04を使用時)

※バッテリーパックの残量がない状態で充電した場合の時間です。

※バッテリーパックに異常があると思われるときは、使用を中止して、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

ご使用前の準備(つづき)

■ バッテリーパックの特性と寿命について

◎ バッテリーパックは、消耗品です。

充電できる回数は、300回～500回が目安です。

◎ 使用せずに保管しているだけでも、劣化が進行します。

◎ 劣化がはじまると、充電が完了しても運用時間が短くなります。

◎ 充電が完了しても、運用時間が極端に短くなったときは寿命です。

無線機の性能を十分活用するため、長くても5年以内の交換をおすすめします。

【乾電池ケースをご使用の場合】

市販のアルカリ乾電池を乾電池ケース(SK-P06)に入れて使用した場合の運用時間の目安です。

※乾電池ケースの使用方法や注意事項については、76～77ページをご覧ください。

名称 定格項目	電池ケース(SK-P06)
運用時間	約6.0時間
	〈条件〉送信1、受信1、待ち受け受信8の割合で 繰り返し運用

※使用条件やアルカリ乾電池の種類(製造元など)により、運用時間が大きく異なることがあります。

また、アルカリ乾電池の特性により、低温では使用時間が短くなります。

※乾電池ケース(SK-P06)を装着しているときは、アルカリ乾電池の残量を表示できません。

アルカリ乾電池の残量に関わらず、電池の残量表示は「」となります。

ご使用前の準備(つづき)

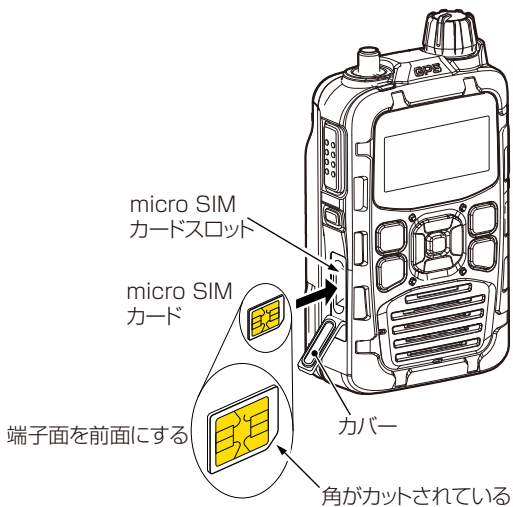
■ micro SIMカードを取り付ける

- ① 本製品の電源を切ります。
- ② 側面のmicro SIMカードスロットのカバーを開きます。
- ③ micro SIMカードの端子を前面にして、角がカットされている方からmicro SIMカードスロットに挿入し、「カチッ」とロックされるまで押し込んでください。
※このとき、micro SIMカードの端子に触れないでください。
※取りはずすときは、「カチッ」とロックが解除されるまで押し込んでから、micro SIMカードを抜き取ってください。
データの書き込み中、読み込み中にmicro SIMカードを取りはずさないでください。
micro SIMカードのデータ破損や消去の原因になります。
- ④ 側面のmicro SIMカードスロットのカバーを正しく閉じてください。

【ご注意】

micro SIMカードを逆向きに挿入したり、無理やり挿入したりしないでください。
カードやスロットが破損する原因になります。

ご使用前の準備(つづき)



ご使用前の準備(つづき)

■ 電源の入れかたと音量調整のしかた

1 電源の入れかた

【電源/音量】ツマミを時計方向に回して電源を入れます。

- 「カチッ」と音がして、表示部に待ち受け画面が表示されます。

※表示部とスイッチ(前面部)の照明が約5秒点灯します。

※電源を切るときは、【電源/音量】ツマミを反時計方向に「カチッ」と鳴るまで回します。

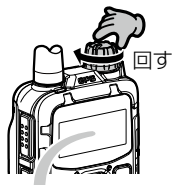
※防塵/防水対応により、簡単に回らない構造になっています。



2 音量を調整する

【電源/音量】ツマミを回します。

- ※【電源/音量】ツマミを時計方向に回し切ると、音声のひずみや、音割れの原因となります。
適切な音量に調整してください。



ご使用前の準備(つづき)

■ 通話の前に確認すること

次の内容を確認してから通話してください

◆「話中圏外」が表示されていませんか

【回線表示】ランプが赤色に点灯し、「話中圏外」と表示されているときは、携帯電話通信サービスの圏外です。電波が届き、**Y**マークが点灯する地点まで場所を移動すると、通話できます。



◆電波の強い地域ですか

表示部で電波の強さを確認してください。
アンテナマーク2本以上が目安です。
携帯電話通信サービスエリア内でもビル陰など電波の弱い地域があります。



◆通話/接続先相手番号は正しいですか

通話したい相手局(例:全グループ)を設定してから発信してください。

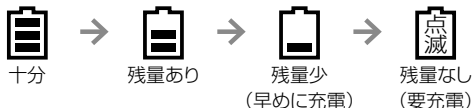


ご使用前の準備(つづき)

■ 電池の残量表示について

バッテリーパックの残量に応じて、表示が変化します。

【電池残量の目安】



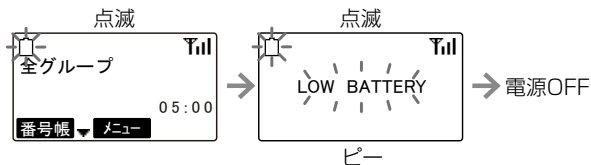
※残量が少なくなりましたら、バッテリーパックを充電してください。

※乾電池ケース(SK-P06)を装着しているときは、アルカリ乾電池の残量を表示できません。

アルカリ乾電池の残量に関係なく、残量表示は「」となります。

■ 電池の残量警告音について

バッテリーパック使用時、電池の残量表示が「」したら、本製品の電源を切り、すぐに充電してください。



※残量表示が「」の状態で使用をつづけると、「LOW BATTERY」が表示され、「ピー」と警告音が1秒間鳴ったあと、電源が自動的に切れます。

※「LOW BATTERY」で電源が自動的に切れた場合、急速充電器(SK-P02)、または6連急速充電器(SK-P04)を使用しての充電は、本製品の「電源/音量」ツマミを反時計方向に「カチッ」と鳴るまで回して電源を切ってから、充電器に差し込んでください。

ご使用前の準備(つづき)

■ キーロック機能について

不用意に本製品のキーやスイッチに触れても、設定や表示が変わらないようにします。

【操作のしかた】

待ち受け画面で、**【機能】**キーを長く(約1秒)押します。

- 「ピッピッピッ」と鳴って、「**よ**」が点灯します。

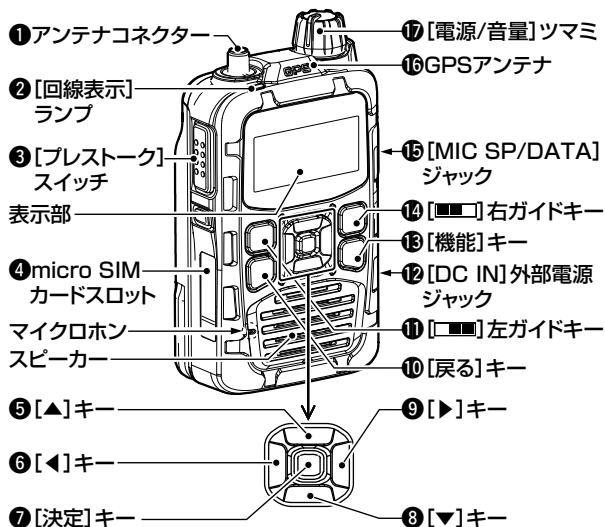
※同じ操作をすると、ロックを解除できます。

※**【プレストーク】**スイッチ、**【電源/音量】**ツマミは、キーロック中でも使用できます。



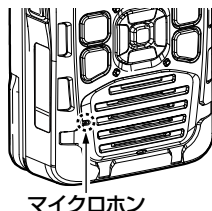
各部の名称とはたらき

■ 前面部/側面部



[ご注意]

マイクロホンは右図の場所にありますので、お話されるときはマイクロホンに向かってお話しください。マイクロホンから口を遠くはなしてお話しされた場合、通話相手側で音声小さい、または聞こえないことがあります。



各部の名称とはたらき(つづき)

①アンテナコネクター

別売品のアンテナ(SK-A01)を接続するSMAコネクターです。

②[回線表示]ランプ

回線状態が表示されます。

消灯 : 待受状態/通話状態/
ファームエアダウン
ロード中

緑点灯: 送信状態

赤点灯: 話中状態/圏外時/起動
中/接続中

赤点滅: エラー状態/運用パラ
メータ変更/個別番号
変更/ユーザコード変
更による設定

③[プレストーク]スイッチ

押すと送信状態、はなすと受信
状態になります。

④micro SIMカードスロット

3G用micro SIMカードの挿入
口です。

⑤[▲]キー

上方向へ項目を移動します。

⑥[◀]キー

左方向へ項目を移動します。

⑦[決定]キー

表示されている画面で操作した
とき、動作する機能が表示部
の (下側中央)に表示されま
す。

⑧[▼]キー

下方向へ項目を移動します。

⑨[▶]キー

左方向へ項目を移動します。

⑩戻るキー



短押し

1つ前の画面に戻ります。

長押し

待ち受け画面に戻ります。

⑪左ガイドキー



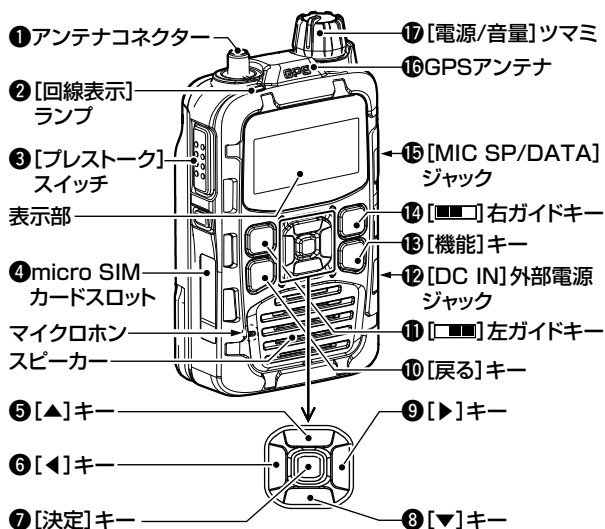
表示されている画面で
操作したとき、動作する
機能が表示部の (左
下)に表示されます。

⑫[DC IN]外部電源ジャック

別売品のシガライターケーブル
(SK-P07)を接続するジャッ
クです。

各部の名称とはたらき(つづき)

■ 前面部/側面部(つづき)



13機能キー



短押し★

あらかじめ登録されたメニューへ移行します。

長押し

キーロック機能をON/OFFします。(P.39)

14右ガイドキー



表示されている画面で操作したとき、動作する機能が表示部の■(右下)に表示されます。

★お買い上げの販売店で設定されている場合に使用できます。
設定される機能により、動作は異なります。

各部の名称とはたらき(つづき)

⑮[MIC SP/DATA]ジャック

別売品のスピーカーマイク(SK-M01)、ネクタイピンマイク(SK-M02)を接続します。

⑯GPSアンテナ

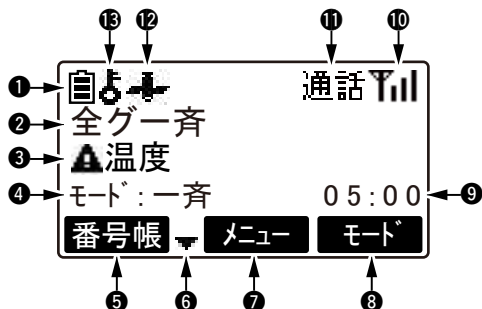
内蔵されているGPS(Global Positioning System)を受信するレシーバーのアンテナです。

⑰[電源/音量]ツマミ

電源を入れたり、切ったりするときに、および音量を調整するときに使用します。

各部の名称とはたらき(つづき)

■ 表示部



① (電池残量)表示

電池残量を4段階で表示します。(P.38)

②宛先表示

ワンタッチ発信相手局の名称(例:全グー)が表示されます。

③温度警告表示/ファームエアダウンロード表示

無線機本体の温度が規定温度を超えたとき、上図が表示されます。(P.73)

ファームエアダウンロード中は「FIRM DL」と表示され、完了すると「FIRM OK」と表示されます。(P.86)

④通話モード表示

送信、および着信画面で表示される選択呼出種別(例:一斉)です。

全グ:全グループモード時

グル:グループモード時

個別:個別モード時

一斉:全グループ一斉モード時

⑤[左ガイド]キーの機能表示

[左ガイド]キー(例:番号帳)で動作する機能を表示します。

⑥表示

[▲]/[▼]キーの操作で、画面を切り替えできるとき、表示されます。

各部の名称とはたらき(つづき)

⑦[決定]キーの機能表示

[決定]キー(例:メニュー)で動作する機能を表示します。

⑧[右ガイド]キーの機能表示

[右ガイド]キー(例:モード)で動作する機能を表示します。

⑨通話時限表示

通話残時間が1秒刻みで表示(例:05:00)されます。

⑩受信電界強度表示

NTTドコモ回線への接続状態と信号強度を表示します。

 : 接続中で、信号強度が「強」のとき。

 : 接続中で、信号強度が「中」のとき。

 : 接続中で、信号強度が「弱」のとき。

 : 接続中で、信号強度が「微弱」のとき。

話中圏外 : 回線に接続できない。

⑪無線回線状態表示

回線状態が表示されます。

通話 : 通話が確立されたとき。

話中 : 通話が確立して、音声やデータ信号を受信中の状態

送信 : 通話が確立して、音声を送信中の状態

⑫GPS機能表示

GPS通知/非通知設定の状態を表示します。

 : GPS通知設定で、未測位のときは点滅、測位完了のときは点灯します。

⑬(キーロック機能)表示

キーロック機能(P.39)設定時、表示されます。

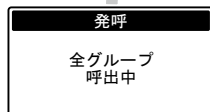
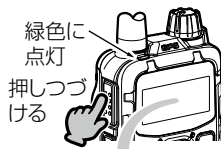
通話する(ワンタッチ発信)

待ち受け中、ワンタッチ発信相手局が表示されます。
プレストークスイッチを押すだけで発信できます。

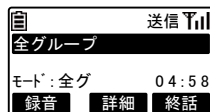
1 プレストークスイッチを押しつづける

【回線表示】ランプが緑色に点灯します。

(例:ワンタッチ発信相手局が、「全グループ」の場合)



↓ 約1秒後



【ご参考】

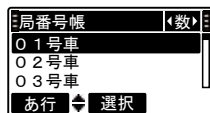
ワンタッチ発信相手局は、局番号帳から選択できます。
手順については、「ワンタッチ発信相手局を切り替える」(P.69)をご覧ください。

通話する(局番号帳発信)

1 局番号帳を呼び出す

[左ガイド]  キー(番号帳)を押します。

- あらかじめ登録されている名称が読み順に表示されます。

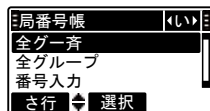


2 接続する相手局の名称を選択する

[▲]/[▼]/[◀]/[▶]キーを押すと、選択局が替わります。

(選択例:全グー斉)

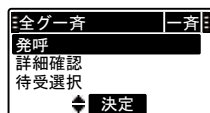
- 押しつづけると、選択局が連続で1件ずつ切り替わります。



3 [決定]キー(選択)を押す

右図の表示に切り替わります。

- ※「発呼」が選択されていない場合は、[▲]/[▼]キーを押して、「発呼」を選択します。(次ページにつづく)



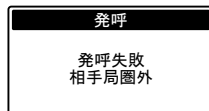
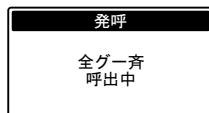
通話する(局番号帳発信)つづき

4 [決定]キー(決定)を押す

発呼され、右図が表示されます。

※接続が成功すると、「ピッピー」と通話指示音が鳴ります。

接続に失敗すると、右図の表示(例)と同時に、「プッププ」と鳴ります。

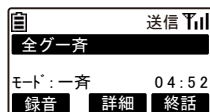


通話する(局番号帳発信)つづき

5 通話する

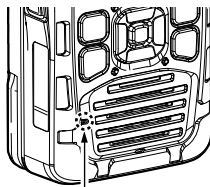
【こちらからの音声を送るには】
プレストークスイッチを押しながら通話する

※[回線表示]ランプが緑色に点灯し、
「ピッ」と送信権獲得音が鳴ってから
お話しください。
お話しできない場合は、「プッププッ」と鳴ります。



【ご注意】

マイクロホンは右図の場所にありますので、お話されるときはマイクロホンに向かってお話しください。
マイクロホンから口を遠くはなしてお話しされた場合、通話相手側で音声小さい、または聞こえないことがあります。



マイクロホン

【相手から音声を受けるときは】
プレストークスイッチをはなす

※[回線表示]ランプが赤色に点灯し、相手局の名称、または個別番号が表示され、音声聞こえます。

(次ページにつづく)

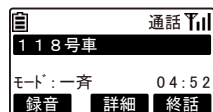
通話する(局番号帳発信)つづき

6 通話モードとユーザ番号を確認するには

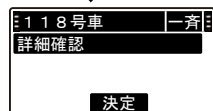
通話モードとユーザ番号を下記の操作で確認できます。

なお、個別通話モード以外の通話のとき、相手局からの受信により個別番号が表示された場合はユーザ番号を確認できます。

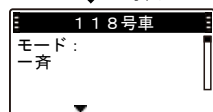
1. 手順5.(前ページ)の通話後、待ち受け画面に切り替わる(終話)前に、**[決定]**キー(詳細)を押します。
 - 詳細確認が表示されます。
2. **[決定]**キー(決定)を押します。
 - 通話モードが表示されます。
3. **[▼]**キーを押します。
 - ユーザ番号が表示されます。



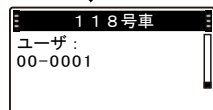
↓ **[決定]**キーを押す



↓ **[決定]**キーを押す



↓ **[▼]**キーを押す



【待ち受け画面で確認するには】

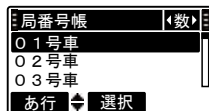
[▼]キー押すと、発呼する通話モードが表示され、再度**[▼]**キー押すと、ユーザ番号が表示されます。

通話する(局番号入力発信)

1 局番号帳を呼び出す

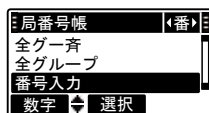
[左ガイド]  キー (番号帳)を押します。

- あらかじめ登録されている名称が読み順に表示されます。



2 「番号入力」を選択する

[▲]/[▼]/[◀]/[▶]キーを押すと、選択局が替わります。(選択例:番号入力)



3 [決定]キー(選択)を押す

番号入力画面が表示されます。



4 相手局の個別番号を入力する

[▲]/[▼]キーを押して、数字(0~9)を入力します。

[◀]/[▶]キーを押すと、入力する場所が替わります。(選択例:0118)



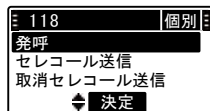
(次ページにつづく)

通話する(局番号入力発信)つづき

5 [決定]キー(選択)を押す

右図の表示に切り替わります。

※「発呼」が選択されていない場合は、
[▲]/[▼]キーを押して、「発呼」を選
択します。

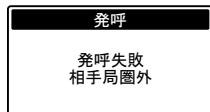
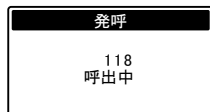


6 [決定]キー(決定)を押す

発呼され、右図が表示されます。

※接続が成功すると、「ピッピー」と通
話指示音が鳴ります。

接続に失敗すると、右図の表示(例)
と同時に、「プッププ」>と鳴ります。



■ [回線表示]ランプが赤色に点灯したら

圏外、または発信禁止状態です。

通話中などの場合は、失敗理由が表示されます。

また、個別通話モードの発信で、相手局が通話中の場合は、「プ
ッププ」>と音が鳴り、「発呼失敗 相手局話中」などと表示されま
す。

通話する(局番号入力発信)つづき

7 通話する

【こちらからの音声を送るには】
プレストークスイッチを押しながら通話する

※【回線表示】ランプが緑色に点灯し、「ピッ」と送信権獲得音が鳴ってからお話ください。
お話しできない場合は、「プッププッ」と鳴ります。

自	送信 
1 1 8号車	
モード: 個別	04:52
録音	詳細 終話

【相手から音声を受けるときは】
プレストークスイッチをはなす

※【回線表示】ランプが赤色に点灯し、相手局の名称、または個別番号が表示され、音声聞こえます。

【ご参考】

- 通話モードが、全グループ斉、全グループの場合は、51ページの手順3で、**【決定】**キー(選択)を押すと、発信画面になります。
- 52ページの手順5で、プレストークスイッチを押しても発呼できます。
- 局番号帳画面で個別番号、全グループ斉、および全グループを選択してプレストークスイッチを押すと、発呼できます。
- 全グループ斉通話(P.47)をするには、あらかじめ販売店での保守設定が必要です。

通話する(着信)

通話を受けると、通話を受けたときの通話モード、相手局の名称、または番号が表示され、下記の各種着信音でお知らせします。

通話モード	着信音
全グループ斉通話	ピーポーピーポー
全グループ通話	なし
グループ通話	なし
個別通話	ピッポー

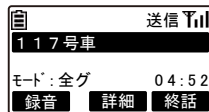
※各種着信音は販売店の保守設定により異なります。

◆全グループ通話モード着信時

1 通話する

【こちらからの音声を送るには】
プレストークスイッチを押しながら通話する

※[回線表示]ランプが緑色に点灯し、「ピッ」と送信権獲得音が鳴ってからお話しください。



【相手から音声を受けるときは】
プレストークスイッチをはなす

※[回線表示]ランプが赤色に点灯し、相手局の名称、または個別番号が表示され、音声聞こえます。

■ 通話中の全グループ斉受信について

通話の途中で全グループ斉受信が行われると、通話は強制終了となり、全グループ斉の通話となります。

この場合は、全グループ斉の通話となるまで予約状態となります。

通話する(着信)つづき

■ 通話の終了について

終話について

通話制限時間が経過すると終話となります。

通話制限時間の10秒前に「ピッ」と終話予告音が鳴ります。

終話のときには、「ブー」と終話音が鳴ります。

通話時は、通話制限時間内であっても、自局、および相手局が共に送信していない時間が5秒つづくると終話となります。

残時間表示は目安です。

0秒と表示されてから終話するまで、しばらく時間がかかる場合があります。

強制終話・切断について

通話中に通話を抜ける機能です。

全グループ、グループ通話中のとき

プレストークスイッチをはなし、**【右ガイド】**  キー(終話)を押します。

発信局は、相手局も同時に終話し、切断となります。

着信局は、自局のみ通話を終話します。

自局のみ終話する場合は、用件が済んだことを確認の上、ご自身の責任で操作してください。

個別通話中のとき

操作は全グループ、グループ通話と同様です。

個別通話のときは、相手局も同時に終話しますので切断という扱いになります。

※全グループ一斉を受信中だけ、終話はできません。

【ご参考】

相手局の名称を表示するためには、あらかじめ販売店での保守設定が必要です。

発信履歴から発信する

発信した履歴を確認し、以前発信した相手局に再度発信できます。

1 発信履歴を呼び出す

【▶】キーを押すと、発信履歴に替わります。

- 最新の発信履歴(最大10件の発信相手局の名称、および通話モード)が表示されます。

発信履歴	
個別	1 1 8号車
一斉	全グー斉
個別	0 1号車
クリア	選択 切替

2 相手局の名称を選択する

【▲】/【▼】キーを押すと、選択局が替わります。(選択例:個別 01号車)

- 押しつづけると、選択局が連続で1件ずつ切り替わります。

発信履歴	
個別	1 1 8号車
一斉	全グー斉
個別	0 1号車
クリア	選択 切替

3 プレストークスイッチを押す

発呼され、右図が表示されます。

- ※【決定】(選択)キー押して、【▲】/【▼】キーで「発呼」を選択、そして【決定】(決定)キーを押しても発呼します。

発呼
0 1号車 呼出中

発信履歴から発信する(つづき)

【ご参考】

- 56ページの手順2、または手順3で**【左ガイド】**  キー(クリア)を押すと、選択している発信履歴を消去します。
- 56ページの手順2、または手順3で**【右ガイド】**  キー(切替)を押すと、画面が着信履歴に切り替わります。

着信履歴から発信する

着信した履歴を確認し、以前着信した相手局にかけなおすことができます。

1 着信履歴を呼び出す

【◀】キーを押すと、着信履歴に替わります。

- 最新の着信履歴(最大10件の着信相手局の名称、および通話モード)が表示されます。

着信履歴	
個別	1 1 7 号車
個別	1 1 8 号車
個別	0 1 号車
クリア	選択 切替

2 相手局の名称を選択する

【▲】/【▼】キーを押すと、選択局が替わります。(選択例: 個別 01号車)

- 押しつづけると、選択局が連続で1件ずつ切り替わります。

着信履歴	
個別	1 1 7 号車
個別	1 1 8 号車
個別	0 1 号車
クリア	選択 切替

3 プレストークスイッチを押す

発呼され、右図が表示されます。

- ※【決定】(選択)キー押して、【▲】/【▼】キーで「発呼」を選択、そして【決定】(決定)キーを押しても発呼します。

発呼
0 1 号車 呼出中

着信履歴から発信する(つづき)

【ご参考】

- 58ページの手順2、または手順3で**【左ガイド】**  キー(クリア)を押すと、選択している着信履歴を消去します。
- 58ページの手順2、または手順3で**【右ガイド】**  キー(切替)を押すと、画面が発信履歴に切り替わります。

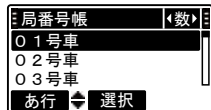
セレコール

相手局が不在の場合でも、呼び出しがあったことを相手局に音と表示で通知します。

1 局番号帳を呼び出す

【左ガイド】  キー(番号帳)を押します。

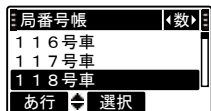
- あらかじめ登録されている名称が読み順に表示されます。



2 相手局の名称を選択する

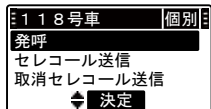
【▲】/【▼】/【◀】/【▶】キーを押すと、選択局が替わります。(選択例: 118号車)

- 押しつづけると、選択局が連続で1件ずつ切り替わります。



3 【決定】キー(選択)を押す

右図の表示に切り替わります。



セレコール(つづき)

4 「セレコール送信」を選択する

【▲】/【▼】キーを押し、「セレコール送信」を選択します。

118号車	個別
発呼	
セレコール送信	
取消セレコール送信	
決定	

5 [決定]キー(決定)を押す

セレコールを送信して、右図が表示され、「ピッピー」と鳴ります。

セレコール送信が成功すると【回線表示】ランプが緑色に点灯し、「ピッポー」と鳴ります。

※セレコールを受信した相手局では、受信しているあいだ「ピッポー」が鳴り、下図が表示されます。

また、下図の表示状態から【プレストーク】スイッチを押すと、セレコール送信相手局へ個別発呼します。

セレコール送信
118 呼出中



セレコール送信
118 成功

セレコール受信
117号車 呼出あり

(相手局表示例)

セレコール(つづき)

【ご参考】

- 局番号入力発信(P.51)、発信履歴(P.56)、および着信履歴(P.58)からも相手局番号を入力、または相手局を選択後、60ページの手順3以降の操作をするとセレコール送信ができます。
- 「ブッブッ」^①と鳴り、「発呼禁止」が表示されたときは、セレコール送信が禁止に設定されている場合があります。
あらかじめ販売店での保守設定が必要です。

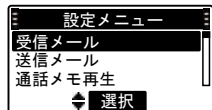
ユーザを切り替える

ユーザが複数ある場合、ユーザを切り替えて通話することができます。

1 設定メニューを呼び出す

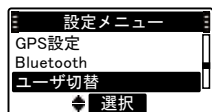
[決定]キー(メニュー)を押します。

- 設定メニュー画面が表示されます。



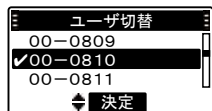
2 「ユーザ切替」を選択する

[▲]/[▼]キーを押し、「ユーザ切替」を選択します。



3 [決定]キー(選択)を押す

ユーザ切替画面が表示されます。
(次ページにつづく)

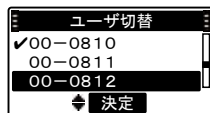


ユーザを切り替える(つづき)

4 切り替えたいユーザ番号を選択する

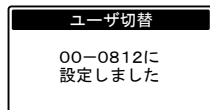
[▲]/[▼]キーを押し、切り替えたいユーザ番号を選択します。

(選択例:00-0812)



5 [決定]キー(決定)を押す

「ピピピ」と鳴り、設定が完了したことを知らせます。



自局情報を確認する

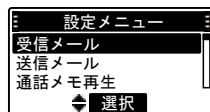
登録されている場合、下記に対する内容が順次表示されます。

自局情報	表示内容
メインユーザ	名称、または番号と自局番号
	所属する着グループ番号
サブユーザ	名称、または番号と自局番号
	所属する着グループ番号
機体番号	個体識別用番号
ソフトウェアバージョン	ソフトウェアのバージョン
運用パラバージョン	運用パラメータのバージョン
情報更新履歴番号	移動局情報の履歴番号

1 設定メニューを呼び出す

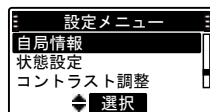
待ち受け画面の状態で、**[決定]**キー(メニュー)を押します。

- 設定メニュー画面が表示されます。



2 「自局情報」を選択する

[▲]/[▼]キーを押し、「自局情報」を選択します。



自局情報を確認する(つづき)

3 [決定]キー(選択)を押す

自局情報画面が表示されます。

(例:メインユーザ)

【ほかの自局情報を確認するには】

【▼】キーを押します。

自局情報	
メインユーザ:	
ユーザ:	00-0802
自 番:	116
▼	確認 グループ

【着グループ番号を確認するには】

【右ガイド】キー(グループ)を押します。

※ほかの自局情報をつづけて確認するときは、【戻る】キーを押してから、手順4に進みます。



(確認例:メインユーザの着グループ)

【待ち受け画面に戻すには】

【決定】キー(確認)を押します。

※再度、確認するときは、前ページの
手順1からやりなおしてください。

自局情報	
全グループ	
05:00	
番号帳 ▼	メニュー

(待ち受け画面
例:全グループ通話)

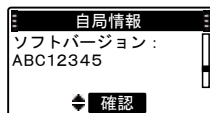
自局情報を確認する(つづき)

4 ほかの自局情報を確認する

[▼]キーを繰り返し押します。

※ 1 つ前の情報表示に戻るときは、

[▲]キーを押します。



(例: ソフトバージョン)

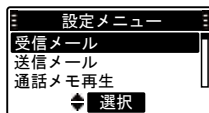
コントラストを調整する

表示の濃淡を調整します。

1 設定メニューを呼び出す

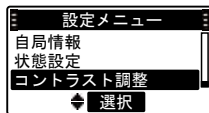
待ち受け画面の状態では、**[決定]**キー（メニュー）を押します。

- 設定メニュー画面が表示されます。



2 「コントラスト調整」を選択する

[▲]/[▼]キーを押して、「コントラスト調整」を選択します。



3 **[決定]**キー（選択）を押す

コントラスト設定画面が表示されます。



4 コントラストを調整する

[▲]/[▼]キーを押します。

◎濃くするときには、**[▲]**キーを押します。

◎薄くするときには、**[▼]**キーを押します。

※調整後は、**[決定]**キー（確認）を押します。

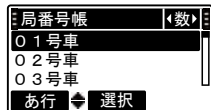
ワンタッチ発信相手局を切り替える

ワンタッチ発信相手局、待ち受け着信グループを局番号帳から選択し、切り替えることができます。

1 局番号帳を呼び出す

[左ガイド]  キー(番号帳)を押します。

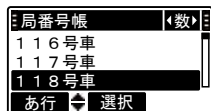
- あらかじめ登録されている名称が読み順に表示されます。



2 設定する名称を選択する

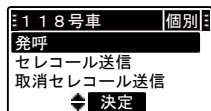
[▲]/[▼]/[◀]/[▶]キーを押すと、選択局が替わります。(選択例:118号車)

- 押しつづけると、選択局が連続で1件ずつ切り替わります。



3 [決定]キー(選択)を押す

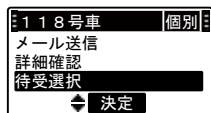
右図の表示に切り替わります。



ワンタッチ発信相手局を切り替える(つづき)

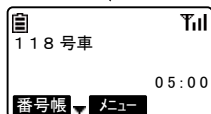
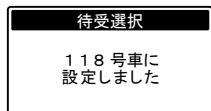
4 「待受選択」を選択する

【▲】/【▼】キーを押し、「待受選択」を選択します。



5 「決定」キー(決定)を押す

「ピピピ」と鳴り、待ち受け画面に戻ります。
待ち受ける局番号が選択した相手に替わります。(選択例: 118号車)



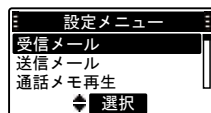
状態を設定する

下記の操作で設定した自局の状態をIPステーションに通知できます。

1 設定メニューを呼び出す

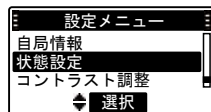
待ち受け画面の状態で、**[決定]**キー(メニュー)を押します。

- 設定メニュー画面が表示されます。



2 「状態設定」を選択する

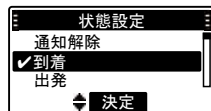
[▲]/[▼]キーを押し、「状態設定」を選択します。



3 [決定]キー(選択)を押す

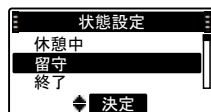
状態設定画面★が表示されます。

- ★右の表示例は、初期設定の場合で、販売店での保守設定により異なることがあります。



4 通知する状態を選択する

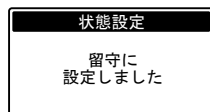
[▲]/[▼]キーを押し、通知させたい情報を選択します。(選択例:留守)
(次ページにつづく)



状態を設定する(つづき)

5 [決定]キー(決定)を押す

「ピピピ」と鳴り、設定が完了したことを知らせます。

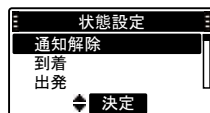


◆状態の設定を解除するには

1 「通知解除」を選択する

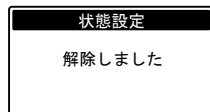
前ページの手順4.の状態にしてから、「通知解除」を選択します。

- 設定メニュー画面が表示されます。



2 [決定]キー(決定)を押す

「ピピピ」と鳴り、設定が完了したことを知らせます。



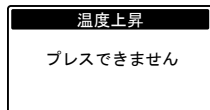
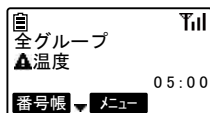
警告機能について

本製品の温度が規定温度を超えると、温度警告「**▲温度**」を表示して温度上昇警告音(「**ピロロロ**」が6回)が鳴ります。

その後、送受信はできなくなります。

また、送信中に規定温度を超えた場合は、警告画面を表示して送信を中断します。

本製品の温度が規定温度を下回ると、温度警告は消灯して送受信できるようになります。



(警告画面)

※「**▲温度**」が表示された場合は、本製品の電源を切ってください。

また、「**▲温度**」表示が消灯すると送受信できるようになりますが、本製品がある程度冷えてから、再運用されることをおすすめします。

別売品とその使いかた

■ 別売品についてのご注意

弊社製別売品は、本製品の性能を十分に発揮できるように設計されていますので、必ず弊社指定の別売品をお使いください。
弊社指定以外の別売品とのご使用が原因で生じる無線機の破損、故障あるいは動作や性能については、保証対象外とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

■ 別売品について

- ★1: IP57の防塵/防水性能があります。
 - ★2: IPX4の防水性能があります。
 - ★3: 補修用部品としてお買い求めいただけます。
- 上記、防塵/防水性能は、「IP表記について」(P.6)をご覧ください。

バッテリー関係

- SK-P01***¹ : Li-ionバッテリーパック
(2200mAh min./2350mAh typ.)
※本書P.29と併せてご覧ください。
- SK-P06***² : 乾電池ケース(単3型アルカリ乾電池×3本)
※本書P.76～P.77と併せてご覧ください。

充電する

- SK-P02** : 急速充電器
※本書P.30～P.31と併せてご覧ください。
※電源には、別売品のSK-P03が必要です。
- SK-P03** : ACアダプタ(SK-P02用の電源)
※本書P.30～P.31と併せてご覧ください。
- SK-P04** : 6連急速充電器(ACアダプタ:SK-P05付属)
※本書P.78～P.79と併せてご覧ください。
- SK-P05***³ : ACアダプタ(SK-P04用の電源)
※本書P.78～P.79と併せてご覧ください。
- SK-P07** : 車載用シガライターケーブル
※本書P.84と併せてご覧ください。

別売品とその使いかた(つづき)

アンテナ

- SK-A01***¹ : アンテナ(長さ:約5cm)
※本書P.28と併せてご覧ください。

スピーカーマイク関係

- SK-M01** : スピーカーマイク
※本書P.80と併せてご覧ください。
- SK-M02** : ネクタイピンマイク(イヤホン付属)
※本書P.80と併せてご覧ください。
- イヤホン***³ : SK-M02の付属品
※本書P.80と併せてご覧ください。

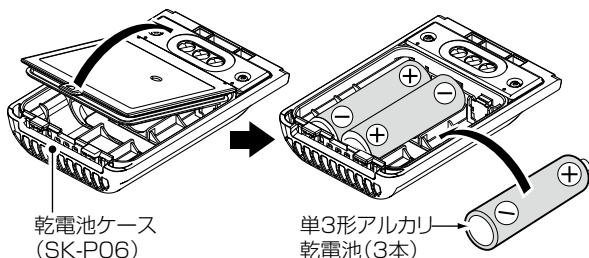
その他

- SK-T01** : ベルトクリップ
※本書P.28と併せてご覧ください。
- SK-T02** : ソフトケース
※本書P.82と併せてご覧ください。
- BLACK HANDY STRAP**
: ストラップ(長さ:約185mm)
※本書P.28と併せてご覧ください。

別売品とその使いかた(つづき)

■ 乾電池ケース(SK-P06)について

乾電池ケースのフタを開け、単3形アルカリ乾電池(3本)を入れます。



※ 本製品に装着するときの注意点などは、「■ バッテリーパックの取り付けかた」(P.29)をご覧ください。

【ご参考】

乾電池ケース(SK-P06)を、本製品に装着したときは、IPX4の防水性能になります。

【乾電池ケースを正しくご使用いただくために】

△危険

乾電池ケース(SK-P06)は、単3型アルカリ乾電池専用です。マンガン乾電池や充電式電池は使用しないでください。破裂、発火や火災、発熱、液もれ、感電、やけどの原因になります。

別売品とその使いかた(つづき)

△注意

乾電池ケースを使用しないときは、乾電池ケースからアルカリ乾電池を取りはずして保管してください。

乾電池ケースは昇圧回路を内蔵しています。

そのため、乾電池ケースを使用していないときも微少な電流が流れるため、アルカリ乾電池が消耗する原因になることがあります。

- ◎ 単3形アルカリ乾電池の極性(⊕(プラス側)と⊖(マイナス側))を間違えないように入れてください。
- ◎ 乾電池ケースの電池端子部にゴミやホコリが付着すると正常に使用できないことがありますので、乾いたやわらかい布などで、電池端子部を定期的にふいてください。
- ◎ アルカリ乾電池に記載されている注意事項も併せてお読みいただき、正しくご使用ください。

【乾電池の交換時期について】

乾電池ケースの電圧が本製品の動作範囲以下になると、電源が切れたり、再起動を繰り返したりします。

このようなときは、3本とも新しい電池に交換してください。

※ 乾電池ケースを装着しているときは、アルカリ乾電池の残量を表示できません。

アルカリ乾電池は運用に応じて消耗しますが、残量に関わらず、電池の残量表示は「」になりますのでご注意ください。

別売品とその使いかた(つづき)

■ 6連急速充電器(SK-P04)で充電するには

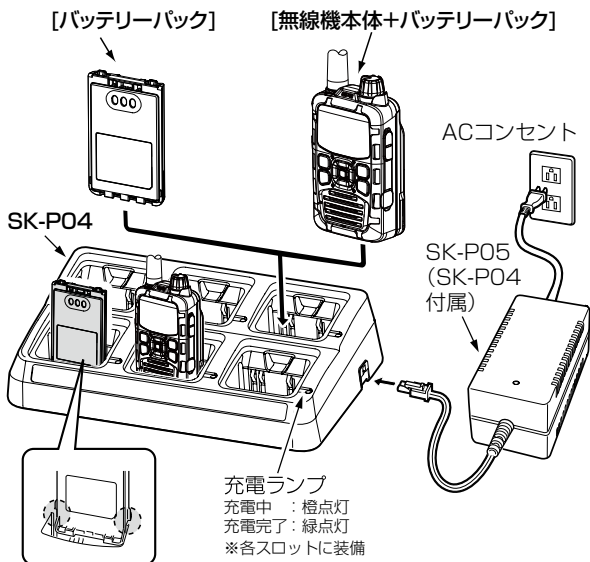
お買い上げいただいたときや、2ヵ月以上充電しなかったときは、必ず充電してからご使用ください。

- ◎ 充電中は、本製品の電源を切ることをおすすめします。
電源が入ったまま充電すると、充電に時間がかかります。
- ◎ バッテリーパック、または無線機本体にバッテリーパックを装着した状態で、図のように充電器に差し込んでください。
- ◎ 充電中、充電ランプは橙色に点灯します。
充電が完了すると緑色に点灯します。
※橙色で点滅する場合は、「故障と思われる前に」(P.90)をご覧ください。
※充電後や充電しないときは、ACコンセントからACアダプタを抜いてください。
- ◎ 本製品を長時間ご使用にならない場合は、充電器から取りはずしてください。

⚠危険

- ◎ 指定(SK-P01)以外のバッテリーパックは、絶対に充電しないでください。
- ◎ 「安全上のご注意」(P.16～P.27)を併せてお読みになり、安全な方法で充電してください。

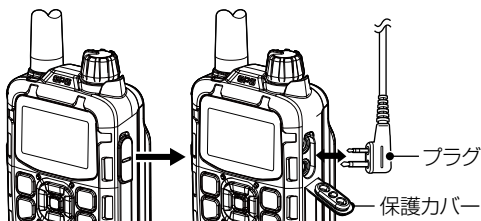
別売品とその使いかた(つづき)



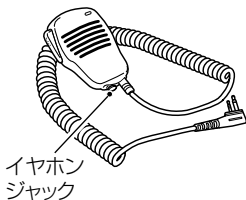
別売品とその使いかた(つづき)

■ スピーカーマイク(SK-M01)/ ネクタイピンマイク(SK-M02)の接続について

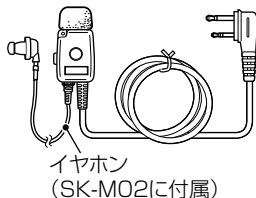
- ◎ 接続ケーブルを抜き差しする前に、本製品の電源を切ってください。
- ◎ プラグ本体を持ってまっすぐに抜き差ししてください。
- ◎ 防塵/防水対応により、差し込み部分がかたくなっていますので、プラグを接続するときは、奥まで確実に差し込んでください。
- ◎ 防水性能の維持と端子保護のため、別売品を接続しないときは、保護カバーを閉じた状態でご使用ください。



SK-M01

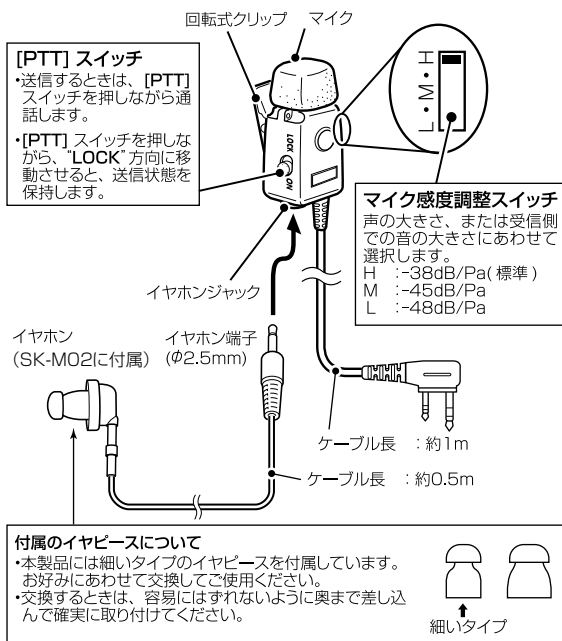


SK-M02



別売品とその使いかた(つづき)

■ ネクタイピンマイク(SK-M02)の使いかた



【ご参考】

マイクロホンの切り替えは、SK-2000のプレストークスイッチが押された場合は、SK-2000のマイクロホンが有効になります。

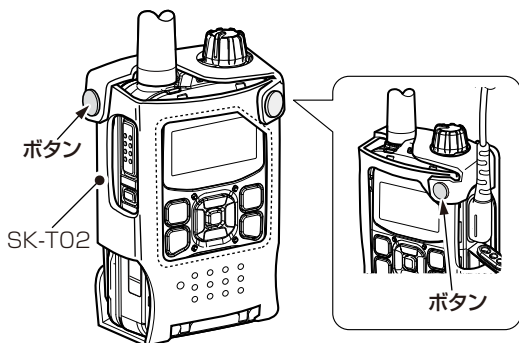
ネクタイピンマイク(SK-M02)の外部PTTが押された場合は、外部マイクロホンが有効になります。

ネクタイピンマイクがSK-2000に接続されていても、SK-2000のプレストークスイッチが押された場合は、SK-2000のマイクロホンが有効になります。

別売品とその使いかた(つづき)

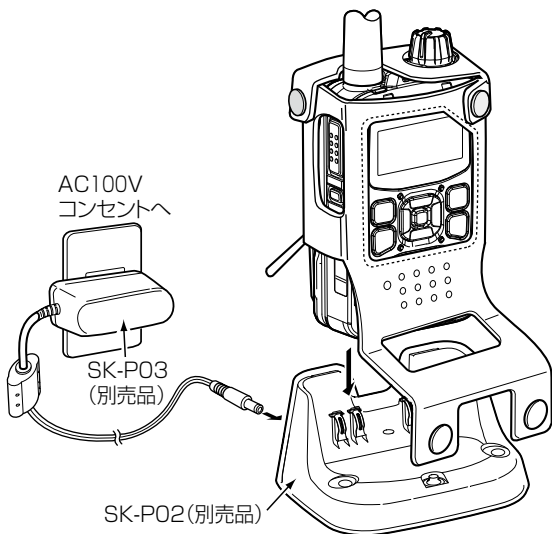
■ ソフトケース(SK-T02)について

無線機本体にバッテリーパック(SK-P01)を装着しているときに使用できるソフトケースです。



別売品とその使いかた(つづき)

ソフトケースを装着した状態で充電するときは、ソフトケースの背面にあるボタンをはずし、下図のように挿入してください。



△注意

ソフトケースの背面にあるボタンをはずした状態でソフトケース (SK-P02) に挿入するため、ソフトケースの下部が本体を押し上げる力がはたらき、奥まで確実に挿入しないと、充電端子が非接触となり充電できない場合があります。

別売品とその使いかた(つづき)

■ シガライターケーブル(SK-P07)で充電するには
お買い上げいただいたときや、2ヵ月以上充電しなかったときは、
必ず充電してからご使用ください。

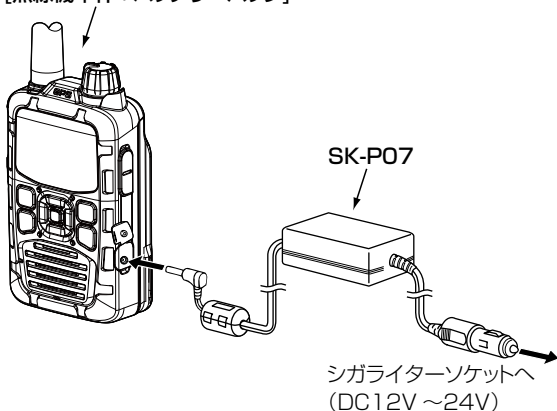
◎ 無線機本体にバッテリーパックを装着した状態で、シガライターケーブルを接続してください。

※充電中の電池残量表示は「」となります。

※シガライターケーブルはバッテリーパック充電用のケーブルです。
無線機本体にバッテリーパックを装着せずに接続しないでください。

※充電後や充電しないときは、シガライターソケットからシガライターケーブルを抜いてください。

[無線機本体+バッテリーパック]



ケタ数/件数一覧

設定項目	登録範囲(最大)	登録件数(最大)
移動局番号(個別番号)	4ケタ(1～9999)	—
グループ番号	3ケタ(1～999)	—
相手局名称 よみがな	全角5文字 かな、英数字4文字	500件
再発信可能な履歴		発信履歴10件 着信履歴10件
ユーザ名称	全角5文字	24件
状態通知内容	全角5文字	20件

※ 各種登録範囲、登録件数は販売店の保守設定により異なります。

ファームアップについて

ファームウェアダウンロード中(クラウド(サーバー)上に保存されている無線機本体の最新のソフトウェアが更新されたとき)は「FIRM DL」を表示します。



エアダウンロードが完了すると「FIRM OK」を表示します。



最新のソフトウェアを有効にするには、電源を一度切ってから、再度電源を入れてください。

自動でソフトウェアのアップデートがはじまり、完了後に無線機本体が起動します。

メッセージ一覧

本製品で表示されるメッセージは、以下の通りです。

メッセージ内容	説明
設定取得中	運用パラメータ、 個別番号やユーザコード等変更時
○○○○○ 呼出あり	セレコール受信時
○○○○○ 呼出中	相手局表示時
呼出中	相手局無表示時 (「通話モードと相手局の番号を直接入力する」で グループ、全グループ、全グループ一斉を発呼し たとき)
発呼失敗 相手局圏外	個別発呼の相手局圏外
発呼失敗 相手局話中	個別発呼の相手局話中
発呼失敗 通信中	個別発呼の相手局通信中
発呼失敗	その他の発呼失敗時
○○○○○ 呼出中	セレコール送信時
○○○○○ 成功	

メッセージ一覧(つづき)

メッセージ内容	説明
履歴がありません	履歴なし
発信履歴を 1件消去しました	発信履歴消去
着信履歴を 1件消去しました	着信履歴消去
○○○○○に 設定しました	状態設定
解除しました	状態解除時

■ 日常の保守

- ◎ 3G用micro SIMカードが本製品のmicro SIMカードスロットに確実に装着されていることを確認してください。
また、micro SIMカードスロットのカバーが正しく閉じられていることを確認してください。
- ◎ 携帯電話通信サービスエリア内で、通話に支障がないか注意してください。
- ◎ 清掃するときは、洗剤や有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)を絶対に使用しないでください。
ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。
また、バッテリーパック(SK-P01)や乾電池ケース(SK-P06)を取りはずした状態では、乾いたやわらかい布でふいてください。
- ◎ 使用される前に、電池の容量が十分残っているか、表示部の残量表示を確認してください。
また、バッテリーパックや乾電池ケースがしっかりと装着されているか点検してください。
- ◎ 無線機本体、充電器、バッテリーパックの各端子(充電端子や電源端子)にゴミやホコリが付着すると、接触不良が原因で正常に動作しないことがあります。
各端子は、定期的に乾いたやわらかい布でふいてください。
- ◎ 毎日、決まった位置の相手と通話して、変化がないか確認してください。

■ 定期保守

年1回は、サービス担当会社で定期点検を受けるようにしてください。

故障と思われる前に

修理を依頼される前に、もう一度次のことを確認してください。
それでもなお異常がある場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは	ここをお確かめください
電源が入らない	バッテリーパック、または乾電池ケースの端子が汚れている、あるいは糸クズなどが付着していませんか？
	バッテリーパック、または乾電池ケースの乾電池が消耗していませんか？
	乾電池ケースに入れた乾電池の極性を間違えていませんか？
	電源を切る前、「▲ 温度」と表示されていませんか？
圏内にならない	今いる場所はサービス圏内ですか？ (サービス圏内であってもトンネル内やビルの谷間などでつながりにくいことがあります)
音が聞こえない	無線機本体の【電源/音量】ツマミを左いっぱいには回していませんか？
受信音声小さい	発信側で、マイクロホンから口を遠くはなして使用していませんか？
受信音声割れる、またはひずむ	発信側で、マイクロホンに口を近づけすぎて使用していませんか？
音が途切れる	電波が弱い地域や移動しているときは、音が途切れることがあります。

故障と思われる前に(つづき)

こんなときは	ここをお確かめください
充電中に、充電器のランプが橙色に点滅する	バッテリーパックは正しく装着されていますか？
	【SK-P02の場合】 0℃～40℃以外の環境で充電していませんか？
	【SK-P04の場合】 10℃～40℃以外の環境で充電していませんか？
充電できない (充電ランプが橙色に点灯しない)	「LOW BATTERY」で電源が切れた状態で【電源/音量】ツマミが電源ON(時計方向に回っている)になっていませんか？

【すぐに販売店に】

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常がある場合は、すぐに電源を切り、煙が出なくなるのを確認してからお買い上げの販売店にご相談ください。

用語・機能説明一覧

無線機・無線局

- 移動局** 移動中、または特定しない地点に停止中に運用する無線局
- 指令局** 営業所などの固定された場所で運用し、通話の管理を行う無線局

通話モード

- 個別通話** 1対1の通話
- グループ通話** 全体を特定の小グループに分けて行う通話
- 全グループ通話** 同一ユーザの無線局が通話
- 全グループ一斉通話** 同一ユーザ内のすべての通話を終了し、指令局が優先通話を行う全グループ通話

ユーザ

- ユーザ** 同一のユーザコードを持つユーザ
- ユーザ切替** 自局が所属しているユーザの切り替え

グループ

- グループ** ユーザ内をいくつかに分けた小団体
- 所属グループ番号** 自局が所属するグループの番号

その他

- セレコール** 呼び出しがあったことを着信音(ピッポー)と表示で通知する機能

■ SK-2000

外形寸法	58(W)×95(H)×31.8(D)mm (突起物を除く、SK-P01装着時)
質量	約150g(本体のみ) 約250g(SK-A01とSK-P01を含む)
動作温度	-10℃～+60℃
電源電圧	定格(バッテリー端子) : 7.2V(SK-P01) 5.5V(SK-P06) 外部端子 : 11.0V(SK-P07)
消費電流	700mA以下
音声入力レベル	9mVrms -39dBm±3dB @600Ω
スピーカー	250mW以上(内部SP 16Ω 10%歪時)
定格出力	125mW以上(外部SP 8Ω 10%歪時)

保証とアフターサービス

■ 保証書(別添付)

- ◎ 必ず、お買い上げの販売店からお買い上げの日、販売店名などの記入をお確かめの上、よくお読みのあと、保存してください。

保証期間はお買い上げの日から1年間です。

- ◎ 異常にお気づきのときは、「故障と思われる前に」(P.89)の表にしたがってご確認のあと、直らないときは、必ず電源を切ってからお買い上げの販売店にご連絡ください。

■ 保証期間中の修理

- ◎ お買い上げの販売店にご連絡ください。
保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間後の修理

- ◎ お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 弊社製品のお問い合わせ先について

- ◎ お買い上げいただきました弊社製品にご不明な点がございましたら、下記サポートセンターにお問い合わせください。

販売元お問い合わせ先

**スマートウェーブ・テレコミュニケーションズ株式会社
サポートセンター**

TEL 03-6455-7700

ホームページ <http://smartw.co.jp/>

MEMO

株式会社エクセリ
東京都中央区日本橋浜町2-30-1 / 大阪府大阪市中央区久太郎町1-9-5
お問い合わせ総合ダイヤル 03-3662-0551
URL:<https://www.exseli.com/>

販売元お問い合わせ先

〒141-0022 東京都品川区東五反田1-21-13 ファーストスクエア五反田6階
スマートウェーブ・テレコミュニケーションズ株式会社
サポートセンター TEL 03-6455-7700

- 修理などアフターサービスについては、お買い上げの販売店
またはスマートウェーブ・テレコミュニケーションズ株式会社にご相談ください。

お買い上げ日	年	月	日	品番	SK-2000
販売店名	電話 () —				

S-7273D-1J-①
Printed in Japan
© 2015 Icom Inc.

製造元 アイコム株式会社